

2020年度第1回

ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価 報告書

学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2020年9月3日に「令和2年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

2020年9月3日

学 校 法 人 山 口 学 園
ECCアーティスト美容専門学校
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

1. 学校関係者評価委員（「ECCアーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

【関連業界等関係者「同第12条第1項（1）」】

委員長

宮崎 裕輔 氏 （株式会社クラフト・ワークス 人材開発部）

永倉 瑞江 氏 （一般社団法人JMA 取締役 検定事業本部本部長）リモート参加

【卒業生「第12条第1項（2）」】

高野 圭梨 氏 （ECCアーティスト美容専門学校卒業生）欠席

【保護者または地域関係者「第12条第1項（3）」】

中上 隆雄 氏 （済美地域社会福祉協議会 会長）

【その他校長が必要と認める者「第12条第1項（4）」】

中井万佐彦様（資生堂プロフェッショナル株式会社 営業部部長）

貴治 康夫 氏（立命館高等学校）

【同席者】

中村 竜二 ECCアーティスト美容アーティスト美容専門学校 学校長

辻浦 誠司 ECCアーティスト美容専門学校 副校長

兼田 寛子 ECCアーティスト美容専門学校 進路指導課

北口 博一 ECCアーティスト美容専門学校 入試課

西村 宗博 ECCアーティスト美容専門学校 教務課

井上 久美 ECCアーティスト美容専門学校 専任教員

2. あいさつ

中村：コロナ禍の影響は大きかった、3月卒業式は内容を縮小し4月の入学式は中止となり、5月11日よりリモート授業6月1日より対面授業となった。

今日は2019年度の内容ではあるが2020年度のコロナ対策のところも触れていきたい。

3. 討議内容：司会 委員長 宮崎氏

辻浦：本日は、サロン見学をしていただく、ネイルサロン（ネイル2年・トータル3年が学生サロンで有料の一般のお客様に対して行う）、メイクサロン（実習室のみ）、美容サロン（プロ専科の学生が施術を行う。サロン無料で学内の関係者のみ）

→実際にサロンを見学。

「基準1」 教育理念・目的・育成人材像

中村：2019年度も例年同様、理念や目的・育成人材像（デュプロマポリシー）を担当者ガイドに記載し講師・スタッフへの周知徹底を図った。また学生ハンドブックにも記載し学生へも周知徹底した。検定試験の目標なども具体的な目標の級数も記載している。

業界の人材ニーズに育成人材像があっているかについては本校の卒業生がお世話になる企業様に教育課程編成委員会を8コース中4コースで行い学習成果を発表し企業様の人材ニーズを吸い上げている。さらに広げて2020年度は7コース全てのコースで開催予定。

ボランティアメイクなどでは講師の指導が入りすぎているが、学生の自主性をもっと高めたい。年代の上の方への対応が課題で良い機会にはなっている。

社会貢献センターが山口学園全体のボランティアの窓口になっている。

辻浦：コロナ禍の状況もありボランティアには行けなくなっている。

中村：キャンセルが続いている。感染防止に努めるにも限界がある。

「基準2」 学校運営

中村：年2回財務を含めた運営方針を全職員に対して行いまた、教育方針を全講師に向けて行っている。

中村：事業計画については3か年計画で出している。毎年実行している。2021年から新たに3か年計画を発表する。

中村：運営組織については、学校法人 山口学園として3月、5月、10月に理事会を行っている
議事録・財務諸表はHPで公開している。

中村：人事・給与制度については、職員・常勤講師・非常勤講師の大きく3つの給与体系がある
運営は職員が行い目標管理シートを作成しそれに基づいて行っている。常勤講師にも目標管理の仕組みを導入するかが課題。専任講師が長く勤めていただいているのは良いことだが現場から離れているのは課題となっている。そういう方々向けに技術研修を行っていったい。

中村：会議については部署責任者会議毎週1回・コースデザイン会議前後期4回づつ・教務会議
進路会議・教職員会議を週1回の5種類、教職員会議の出席率が低いのが課題。資料の共有のICTを活用している。

中村：課題解決方法、学校APPを活用している。オンライン授業も学校APPを使用した。
さまざまな連絡なども学校APPである。

宮崎様：ZOOM 会議・WEB 会議について資生堂さんは早くから取り組んでおられるがいかがでしょうか？

中井様：早くから取り組んでいる。ZOOM は主催者として禁止している。Teams と Webex を使用している
全国営業会議などは Teams を使用している。経費も掛からないのでコロナ禍が収まっても
できるのではないかと、会社になくてもできることがたくさんあることに気が付いてきている。

永倉様：メイクの検定協会としてはかなりの痛手だった。自宅でできるように動画コンテンツを急遽
作成した。3 級に限りウィッグと自分の顔でリモートでも非接触型でも通常でも OK と
特別措置をした。2 級も検討。マスクができないので検討している。
講師会は ZOOM で開催した。いろいろと工夫が必要だと感じた。

貴志様：授業も職員会議も ZOOM で行った。資料は事前に PC に配布した。当初は心配だったが
大きな会議は今も ZOOM で行っている。70 名～80 名ほどで行っている。コロナが収まっても
継続予定。

西村：共有ファイルについてどうか？

中井様：onedrive は使わず、BOX で行っている。ZOOM は録画している。

中村：貴志先生、学生のネットや IT の環境はいかがでしょう？

貴志様：割と裕福な家庭が多いので 10%ほどしかネット環境や PC がない学生がいなかった。
オンライン整備費 3 万円配布した。来年度から iPad を全員に購入予定。

貴志様：ファイルの共有は Classy と Google フォームを使用していた。
動画コンテンツ課題は Youtube で配信、課題提出は Classy で行った。

「基準 3」 教育活動

辻浦：2019 年度コンテスト実績

- ・「アジアネイルフェスティバル」
全日本理美容学校対抗ネイル選手権 1 位、ネイティフル部門 1 位/2 位
- ・「第 14 回 IBF 主催 フォトコンテスト」1 位
- ・「全日本美容専門学生選抜 ヘアメイク選手権大会」1 位
- ・「ICAM フォトコンペティション ビューティ部門、アート部門」1 位

2019 年度検定実績

- ・「JNEC ネイリスト技能検定 2 級」100%
- ・「JNEC ネイリスト技能検定 1 級」68.4%
- ・「国際アイラッシュ検定 1 級」95.5%
- ・「JBMA メイクアップ技術検定 Basic コース」100%
- ・「JBMA メイクアップ技術検定プロフェッショナルコース」80.1%
- ・「エステティシャンセンター試験資格」100%
- ・「美容師国家試験」昼間課程 96.4%など

コースごとに卒業要件、DP 作成ハンドブックに記載、コロナ休講中に在宅学習コンテンツで配信

辻浦：退学者ゼロに向けて、退学者分析、無断欠席・長期欠席者へ担任、教務課スタッフが
同時に取り組み、相談室や保護者と連携し、早期解決等対応した。

辻浦：検定はさらなる成果向上のため、より高い目標を設定

辻浦：教員の技術向上のための FD の予算をより確保して行う予定。

貴志様：教育課程編成委員会のメンバー構成をどうか？

辻浦：学科ごとだったがコース別にしていく。コースに関連する企業様および団体とか協会様に来ていただく。あと学校長・副校長・教務課スタッフ・進路課スタッフ・各コースの講師が参加する。

辻浦：社内研修について取り組みを教えてください。

中井様：それぞれの役職の職務に応じて研修を3か年で受ける。外部講師に基本お願いしている。

辻浦：マナー研修は？

中井様：新入社員のマナー研修は内部でおこなっている。今年度はコロナ禍の影響を7月に出勤となりそこから行った。

貴志様：一貫教育部が行う。あとは外部講師と各科の教員がそれぞれの講習会や研修会を受けている。

宮崎様：自分たちがおごらないように外部のサロンさんから講師を呼んで全員で研修を受講している。朝礼で話をしている。月に一回レベルに合わせた話をしている。リモートでできるものはしているが技術ではなく考え方とか中心である。

辻浦：外部の技術研修に抵抗はないのか？

宮崎様：抵抗はない。

中井様：eラーニングでおこなっている。資生堂フィロソフィーに基づいて話し合いを行っている。

辻浦：フィロソフィーはクレドのようなもの？

中井様：そうです。

中村：学校APPで学校方針は学生に伝えている。

辻浦：形骸化はどう防いでいる？

中井様：徹底されている。いつも冊子を携帯し持ち歩いている。その行動基準で行っている。幹部になればなるほど評価は数字だけの評価ではなくなっている。

「基準4」 学修成果

辻浦：習熟度が低い学生への特別授業の体制構築すると共に1年生には全員iPadを貸与する制度を導入し、資格試験対策にも活用予定。

兼田：内定率は2019年度は100%を達成、1名のみ2020年の4月に決まった。

学校APPはかなり活用している。求人や説明会などの案内もしている。

西村：iPadはまだ卒業年次生に渡していないので進路ではこれから活用していくことになる。

辻浦：iPadのJMAさんの使用状況はどうか？

永倉：使用したいと思う加盟校は多いが施設面及び人材の面でできないのが実情である。

ZOOMでの授業もなかなか難しいときいている。コンピュータ関係に強い学校は遠隔授業をおこなっている学校もあったがなかなか難しい。

西村：本校でも遠隔授業は苦勞した。

「基準5」 学生支援

辻浦：退学率の低減が図られているかですが様々な施策をおこなっている卒業率が

96.2%→96.5%にあがった。それに対して進級年度の退学率は83.1%と88.3%から

落としてしまった。行動実践学なども導入し教員研修も行ったがより教員を追い込むこととなったのかもしれない。今年度よりより魅力のある授業の提供で退学を防いでいこうとしている。退学防止をやりすぎた面もあるので方向性を変えていきたい。

中村:学費無償化について 632 名の 117 名(18%)が無償化を受けることとなり当初より多い印象がある。
学生によっては 12,800 円ー75,800 円の給付がある。今年度の学費最大 375,000 円減免となっています。退学防止への影響はまだわからない。

宮崎様:高校での状況はいかがでしょう?

貴志様:大いに活用している状況。特に公立高校さんは活用している。

辻浦:上位校の無償化対象リストなどありますか?

貴志様:リストまではない。情報は良く知っている。

宮崎様:貸与はなくなった?

中村:貸与はなくなっていない。

宮崎様:奨学金の借りる額は減ったのか?

中村・辻浦:総額的には減っていると思う。

西村:昨年よりは休退学の数値的には良くなり始めている。

辻浦:アクティブラーニング形式は専門科目に広げていく予定。

「基準6」 設備など

辻浦:見学していただいた実習室に意見があればおしえていただきたい。

宮崎様:お洒落で良い感じだと思います。人数は?

辻浦:今日の倍は美容の普段はいる。

中村:ネイルサロンも今日は普段よりも少ない人数である。

井上様:照明が気になる。窓の関係から照度が低いかなと感じる。

井上:写真を撮るときは外に出たりしている。

中村:照明が変られると良いとは思っている。

辻浦:アクティブラーニングはどうか?

貴志様:なかなかある一定年齢より上の教員は難しい。昔ながらの授業をしている。

辻浦:本校の状況を説明してほしい。

西村:英語で導入している自分たちで英文を作成し動画を作成しクラスで共有し英会話力を上げている。
今後は専門授業に広げていく予定。

「基準7」 学生募集と受け入れ

2021 年度募集の状況にも触れて説明

北口:OC の開催ができなかったが 6 月から ZOOM での説明会を行った。

2020 年度生(2019 年度実施)は通常の入試対応であったが、2021 年度募集は例年より質問が多かった状況だが 8 月からは通常の OC をおこなった。募集は少し下がったが堅調には進んでいる。

「基準8」 財務状況

中村:707 名(2018) 利益率 18% 677 名(2019) 17%の利益率になります。

以前高い水準は、在籍生は減少したが保持している。

「基準 9」 法令等の遵守

辻浦：法令の遵守に関しましては例年通りの状況になります。

学校評価に関してはさらに精度を上げるため授業・設備見学をしていただいて公開する。

「基準 10」 社会貢献・地域貢献

辻浦：国際交流の取り組みに関してコロナの影響があり工夫をしている状況。

ボランティア活動の強化も困難な状況である。

辻浦：コロナの影響が地域活動への影響を教えてください。

中上様：ほとんど中止、会議しかできないが自治体関連は難しい。

お年寄りへの子供によるお弁当配布も禁止などとりあえずほとんど中止となっている。

辻浦：一人一人の感覚が違うのが難しいところがある。本校の中での対策は入り口で検温と手指の消毒を行っている。またサーモセンサーを導入した。

貴志様：高校もほとんど中止。もしでたら OUT になってします。

国際交流も同じ。ZOOM で学生同士のやり取りをしている。

宮崎様：サロンの貸し切り対応もしているがまだ申し込みはない。

4. 終わりに

中村：相モデルでの技術が多い中難しい状況の中進めているが少しでも進めていきたいと思っている。コロナと付き合いながらも学生を伸ばすために頑張っていきたい。

辻浦：相モデルでもフェイスシールドすれば濃厚接触者にはならない。

宮崎様：コロナによって物販の売り上げは上がっている。ポジティブに考えた方が良い。いい勉強になっている。

中村：2019 年度の報告ではあったはコロナ禍で 2020 年度もいろいろ貴重なご意見をお伺いできて参考にさせていただき、今の学生はこの時しかありませんので少しでも学生のために前を向いていけたらと思います。

以上